

# 令和7年シラス曳網調査結果 (第4報)

令和7年5月28日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

5月27日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深9m)、141-05E(水深28m)、  
141-10E(水深37m)、141-15E(水深54m)

## 3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図1)

15.3°C~17.1°C

### (2)シラス採捕数(図1)

1 定点あたり 2~133 尾 (合計 142 尾)

今回のシラス採集数は前回調査時(5月15日、0~1尾、合計1尾)と比較し、増加しました。

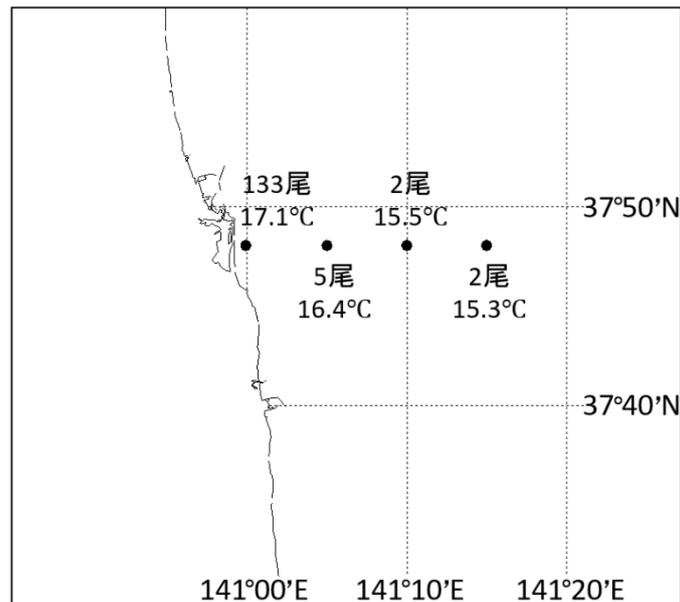


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：11.9～42.8mm

141-00Eでは全長16mm前後、34mm前後の2つの群のシラスが採集されました。  
141-05E、141-10E、141-15Eでは全長15～20mm程度のシラスが採集されました。

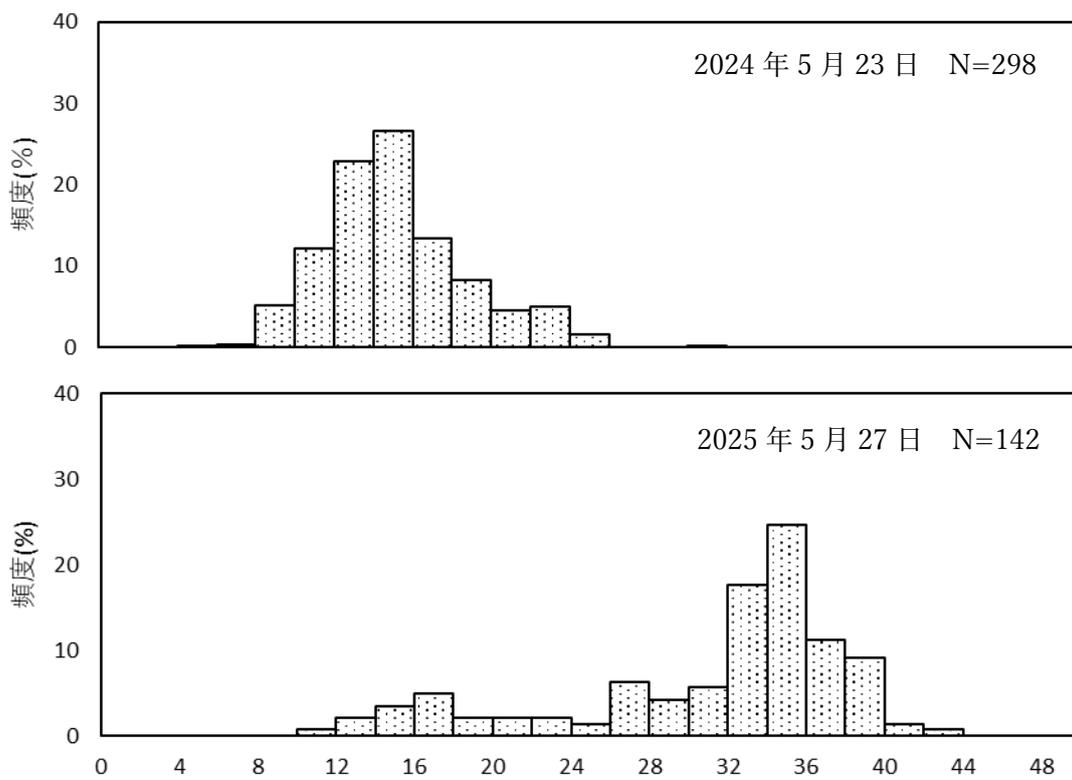


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3、4)

令和7年5月のシラス採捕数は平成18年以降で4番目に多い結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。

今年は1月にいわき地区で約6t、相双地区で約36tの水揚げがありました。

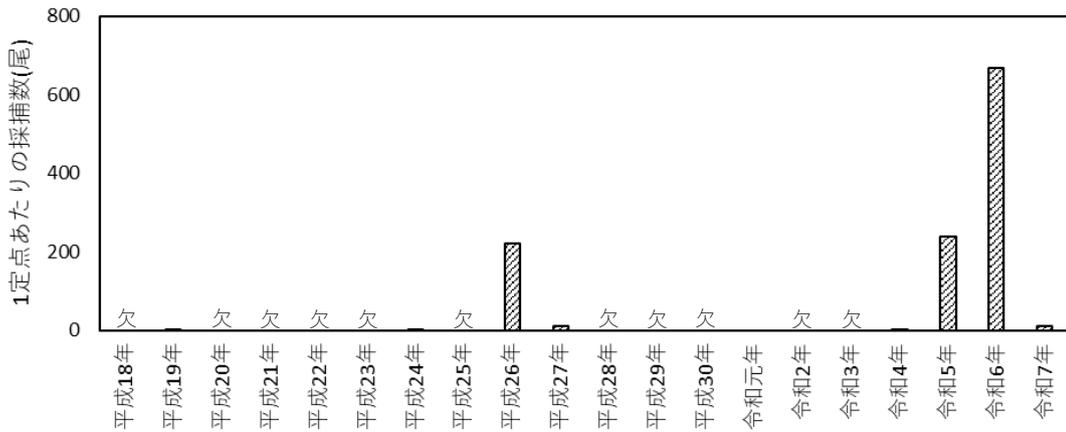


図3 相馬海域における5月の1定点あたりの採捕数

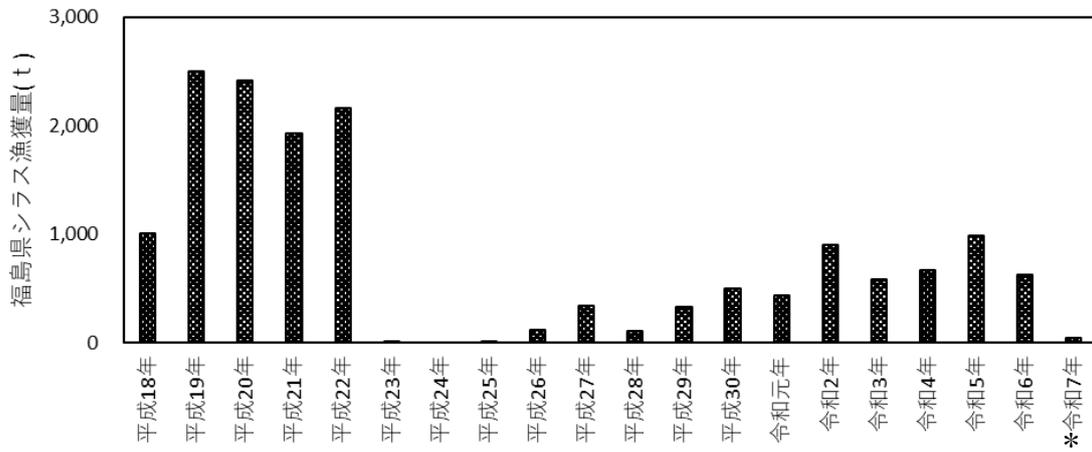


図4 福島県の年別シラス漁獲量

\*1月31日までの速報値